

公益財団法人

広島国泰寺高等学校鯉城同窓会奨学財団

2021 年（令和 3 年）度 奨学生募集要項



公益財団法人広島国泰寺高等学校鯉城同窓会奨学財団は、

「広島国泰寺高等学校在校生及び卒業生で、将来的に人類の発展に良い影響を与える研究や活動等に邁進したいなどの高い志を持ち、国際社会で活躍しようとする意欲的な者に、夢の実現の一助として奨学金を給付する」

ことを目的として奨学金の給付事業を実施しています。

書類受付期間 2021 年（令和 3 年）6 月 14 日（月）～2021 年（令和 3 年）7 月 16 日（金）

※必ず郵送でお願いいたします。

1 目 的

現在のグローバル社会の中では、地球規模で物事を考える必要が生じることから、異なる文化を持つ人々と国を超えて協働する場面が増大しており、世界的に持続可能な社会の構築に寄与する人材が求められている。

当奨学財団は、広島国泰寺高等学校から国際的に活動するグローバルリーダーを輩出することを目指し、「将来、国際間で活躍したいと考える高い志を持つ在校生及び卒業生」に対して、留学・研修等の活動に必要な資金を給付し、もって「**志の実現を支援する**」ことを目的としている。

2 奨学金の性質・種類

(1) 性 質

本奨学金給付事業は、給付型の奨学金であり、使途について、上記の目的に沿ったものであること以外には、特段の具体的な定めは設けていない。また、他の奨学金との併給も可である。

(2) 種 類

本奨学金は、次の3つの類型とする。

類 型	給付対象	給付額	募集人数
A 型 「留 学」	○将来的に国際間で活躍することを目的とし、より幅広く、高度な知識を習得するため、国外の大学に留学する者	A 型：30 万円～50 万円	若干名 (予算の範囲内)
	○国際間で活躍するため、語学力及び資質の向上を目指し、国外の研修期間で6か月	※給付額は、申請書類に基づく学費及び副教材費等である。 ※A 型・B 型ともに目安となる給付額を記載している。	

B 型 「研 修」	以上の研修を受講する者 ○その他、海外研修等への参加で、広島国泰寺高等学校長が推薦する者	B 型：5 万円～30 万円	
C 型 「その他」	○理事長が必要とする者	C 型：随時検討	若干名 (予算の範囲内)

※奨学生は単年度で募集するものとし、複数年を希望する者は毎年度申請書を提出（年 1 回）する。

3 募集期間

奨学生募集期間：2021 年（令和 3 年）6 月 14 日（月）～2021 年（令和 3 年）7 月 16 日（金）

※広島県立広島国泰寺高等学校生への募集要項配布は、令和 3 年 2 月末日～3 月末日までの間とする。

※広島県立広島国泰寺高等学校過年度卒業生への募集要項の周知については、電子公告とする。

奨学財団ホームページ：<https://rijoshougaku.wixsite.com>

4 応募資格

- （1） 将来グローバルリーダーとして、世界を舞台に活躍しようとする「高い志」を持つ者
- （2） 教育・研究活動において、国際的な評価が高い国外の大学・大学院へ進学しようとする者、または、グローバル人材として必要な資質・能力を身に付けるため、留学及び研修等に参加しようとする者
- （3） 「質実剛健」「礼節気品」「自治協同」の校訓を体現し、他の生徒・学生の範となる者
- （4） 高い志を実現するために必要な資質や能力（知・徳・体）をバランスよく備えている者

※当奨学金給付事業への応募は、上記条件を全て満たす者とする。

5 応募手続き

- (1) 奨学金給付申請書（規定様式）【必須】
- (2) 本奨学金給付事業に応募した理由、給付の必要性について記した文書（規定様式）【必須】
- (3) 在学（籍）校における主たる指導者の推薦書（規定様式）【必須】
- (4) 応募時点での学業成績を証明する書類（各校の作成する書類）【必須】
- (5) 応募時点での外国語の運用能力を客観的に証明する書類（検定合格通知等）
- (6) その他、当奨学財団の選考委員会が必要とする書類等

※当奨学金給付事業への応募は、募集期間内に上記の(1)～(5)の書類を提出できる者とする。

6 給付候補者の選考及び給付の決定

- (1) 応募者については、当財団定款第9章に定める選考委員会において、次の審査を経て決定する。
 - ・第1審査：応募者から提出された申請書類による審査
 - ・第2審査：必要に応じて、応募者との面接による審査（必要な場合は、別途連絡）
- (2) 選考委員会は、選考結果を速やかに理事長に報告する。
- (3) 理事長は、理事会を開催し決定する。なお、決定後は速やかに応募者に通知する。
- (4) 理事長は、給付決定を行うにあたり、応募者に次の事項の確認をする。

・報告書の提出義務

= 指定された期日までに、学業成績や専門分野における修学状況及びその成果に関する報告書を提出する義務があること

・給付金の返済義務

= 申請内容等に虚偽があった場合は、給付額全額を返済する義務があること

7 その他

- (1) 当奨学財団が、奨学金の給付申請にかかわって知り得た個人情報については、選考・決定以外のいかなる目的にも使用しない。
- (2) 奨学金の給付申請に係る書類の記載内容に虚偽があることが発覚した場合や、奨学生として不適切な行為等があった場合には、給付した奨学金の返済を求める。
- (3) 募集要項で定めている以外の書類の提出については、必要に応じて理事長がこれを要請する。

公益財団法人広島国泰寺高等学校鯉城同窓会奨学財団奨学金について

理事長 細川 匡

広島県立広島国泰寺高等学校は、明治 7 年に官立広島外国語学校として創設され、明治 10 年に「広島県中学校」に改称（県立として創立年となる）、広島県広島第一中学校、広島県立鯉城高等学校を経て、現在の広島県立広島国泰寺高等学校に至っています。

2021 年で創立 144 年目を迎える歴史の中で、一貫して培ってきた校訓「質実剛健」「礼節気品」「自治協同」のもと、先輩から受継がれた「文武両道」の精神は現在もなお脈々と流れ、在校生が学業に部活動に、その成果を発揮している様子は、同窓生として大変頼もしく大きな喜びとしていただいております。

昨今のグローバル化は、私たちの生活環境に大きな変化をもたらし、一つの国にとどまらず「国際社会の中で生きる力」が求められています。これからの社会を担う者には、その変化に対応できる人材の育成が求められており、国、県ともに「地球規模の視点による人材育成」を教育の柱に掲げています。

このような中、「母校から世界で活躍する人材を輩出したい！」との強い思いを持つ昭和 29 年卒業の松尾聡さん（カルビー創業者 2 代目）が私財を投じ、平成 26 年 12 月に当奨学財団が創設されました。

当奨学財団は、出資者の想いを形にした「“国際間で活躍したい”と願う若者の夢を実現可能にする支援」にあり、学業を極める研究や国際的に活動したいと願う者が、留学（長期・短期）及び海外研修等に積極的に参加する一助として奨学金を給付するものです。

在校生や卒業生の皆様には、この奨学金を活用して、自己実現に努めて頂ければ幸いです。

【鯉城同窓会奨学財団の沿革】

平成 26 年 04 月 S29 年卒松尾聡氏 寄附申出

平成 26 年 08 月 一般財団法人設立（8/8）

平成 26 年 12 月 公益財団法人移行（12/1）

平成 27 年 05 月 平成 27 年度春季奨学生決定

個人 1 名、団体 1 団体

平成 27 年 10 月 平成 27 年度秋季奨学生決定

個人 1 名、団体 1 団体

平成 28 年 4 月 平成 28 年度春季奨学生決定

個人 2 名、団体 1 団体

平成 29 年 5 月～ 平成 29 年度奨学生決定

個人 11 名

平成 30 年 5 月～ 平成 30 年度奨学生決定

【鯉城同窓会「広島国泰寺高等学校」の沿革】

明治 07 年（1874） 官立広島外国語学校設立（開学）

明治 10 年（1877） 広島県中学校改称（創立）

明治 12 年（1879） 広島県広島中学校改称

明治 32 年（1899） 広島県第一中学校改称

明治 34 年（1901） 広島県立広島中学校改称

大正 11 年（1922） 広島県立広島第一中学校改称

昭和 17 年（1942） 県立夜間中学開校（現定時制）

昭和 18 年（1943） 広島県立第三中学校（夜間）改称

昭和 23 年（1948） 広島県立鯉城高等学校（改称）

夜間課程及び通信教育部（創設）

昭和 24 年（1949） 広島県広島国泰寺高等学校（新発足）

昭和 43 年（1968） 広島県立広島国泰寺高等学校改称